

# 新年のご挨拶

公益社団法人 大阪府栄養士会 会長 藤原 政嘉



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられましたことお慶び申し上げます。

平素は栄養士会に格別のご支援、ご理解をいただき、新年に当たりあらためてお礼申し上げます。

本会は大阪府民の皆様の健康の維持・増進に栄養・食生活の面から援助する目的でホームページの定期的な改編や府民健康フォーラムの開催、栄養ケア・ステーションの開設など保健衛生の向上に寄与できる事業を展開しております。

また、会員の皆様には「生涯教育制度」を運営し、栄養学を基盤とした栄養・食生活マネジメントに関する知識とスキルの向上を図る研修を毎月実施し、数多くの会員に参加いただいております。特に昨年、一昨年と「在宅栄養ケアスタッフ研修会」を開催し、昨年は約200名のスタッフを養成しました。この事業は在宅療養者に対し適切な栄養ケアによりADL/QOLの改善と重症化予防を図るためのケアスタッフの養成を目的として、大阪府から委託を受け実施しております。研修の成果目標は在宅訪問を含め、依頼者の立場に立った栄養ケアプログラムを作成する実力をつける所に主眼をおいて、知識と技術の両面が修得できるよう座学だけでなく実習・演習を取り入れた研修となっております。将来的には栄養ケア・ステーションのスタッフとして活躍してほしいと思っております。

昭和22年に栄養士法が公布されて幾久しく、その法に基づいて管理栄養士・栄養士は国民の保健衛生の向上に努力しています。さて、その法の内容や管理栄養士・栄養士の養成するカリキュラムの内容が現代社会から求められる管理栄養士・栄養士に伝えることができるだろうか、日本栄養士会は管理栄養士・栄養士は「栄養の指導が固有の業務」と捉え将来像の構築を図っています。その将来像を実現するためには理論形成、実態形成、世論形成、政策形成の4本の矢の確固たる理論武装が必要であり、全ての管理栄養士・栄養士がミニマムスタンダードとして「栄養の指導＝本質とその実践形態を理解し説明できる」「職業倫理＝専門職としての職業倫理をベースにした態度や行動をとる」「栄養ケアプ

ロセス（栄養アセスメント、栄養の診断、栄養介入、栄養モニタリング）の基本を理解し、活用できる」「行動変容の理論と実践＝カウンセリングスキルを備える」と共に自らの責任で、免許にふさわしい資質を維持するために必要とされます。このように管理栄養士・栄養士を取り巻く環境の変化や将来像をじっくりと見据える時期がきたことを我々は自覚する必要があると思います。

本会をご周知のとおり会員の会費によって運営されております。しかし、ここ数年会員数の微減が見られます。組織の強弱は会員数が左右すると言っても過言ではなく役員一同会員増対策に奔走しており、昨年は新入会員が増加し継続会員が漸減しました。近年は同業の仲間意識や先輩・後輩の意識の希薄さ、またITの発達により情報の取得は十分に可能になり、会員継続の価値観が薄らぎ、栄養士会会員という意識に変化をもたらせたように感じます。何れにしましても会員あつての栄養士会です。会員の皆様のご支援をいただき、一人でも多くの仲間づくりをしたいと思っております。ご協力宜しくお願いいたします。

今年「戌年」です。文献によりますと「戌」は「じゅつ」と読み、訓読みが「いぬ」となっています。昨年は酉年で「商売繁盛」や「取り→採り」と収穫の意味がありました。今年は収穫後の年で、「一印」と「戈(ほこ)」から成り立ち、作物を切り取りひとまとめに締めくくることが表すとされています。種々の課題を持った大阪府栄養士会ですが「戌年」が示すように栄養士会にとって「いい実りがまとめられる年」になるよう願っています。

また犬は社会性があり勤勉努力家で忠実な動物であり、お産が軽いことから安産について「戌の日」が吉日とされています。安産は文字のごとくお産にも吉な年で、新たに何かを産むという意味でもあることから、新たに取り組む事業のスタートの年としても絶好な年であると思っています。

会員の皆様も栄養士会が開催する生涯教育研修会などの行事に積極的に参加していただき、情報、知識の獲得と、スキルアップを図ると共に、当会の運営に厳しい評価をいただければ有難いと思います。理事一同は目配りとぶれない会の運営に努力いたします。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念しまして新年の挨拶とさせていただきます。